

事業所名 おやこうこう

支援プログラム（居宅訪問型児童発達支援）

作成日 令和7年 2月5日

法人(事業所)理念	未来ある子どもたちのために、ひとりひとりの個性を尊重し自立した生活を支援していきたい。		
支援方針	地域福祉の推進に努め、地域の障がい児とご家族が安心してご利用いただける環境を提供すること。 一人ひとりの特性・発達に応じ「自分らしく」「笑顔」でいられる場所を提供すること。		
営業時間	10時00分～14時00分	送迎実施の有無	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	健康状態や、心身の状態を確認することで、細やかな体調の変化を把握し対応します。ご家庭で様子(食事・睡眠当)を共有し、必要な支援をご家族とともに考え実施します。 お子さまの現状を把握し、できかけていることやできそうなことから取り組むことで、生活のスキルの獲得につなげます。	
	運動・感覚	お子さまの現状を把握し、興味関心を活用しながら、幼児期に必要な身体や手先の動きを取り入れた遊びや活動を実施します。 安楽な姿勢を保持し、安心できる環境のもとリズムに合わせて楽しく身体運動をおこないます。 また医療ケア児などは活動前などのマッサージや排痰ケアをおこない心身ともにリラックスして参加できるように支援していきます。	
	認知・行動	始まりの会を毎回おこなうことをルーティン化させていくことでイメージをもたせ見通しがつくように支援していく。 好きなことや興味を活かした活動を提供することで、見る、聞く、触るという行動を促し、身の回りの物事へ注目、理解につなげていく。 玩具や、教具を使用した遊びを通し、物との関わりを豊かにすることで、生活の中で分かることやできることを増やしていきます。	
	言語 コミュニケーション	お子さまにとって理解しやすい情報を整理し、豊かにコミュニケーションが取れるような手段・方法を検討していきます。 お子さまに合ったコミュニケーション手段を用いることにより、手段の獲得と定着につなげていきます。	
	人間関係・社会性	大人との安心できる関わりの中で、家族以外の人(大人や同世代の子ども)との積み重ねを、愛着の形成や信頼につなげていきます。 興味関心のある遊びを通して、家族以外の大人と関わることで、相手への意識が向かうような機会を取り入れていきます。 様々な遊びや体験を通して、他者と自分の関わり(他社に合わせる、待つなど)の機会を取り入れていきます。	
家族支援	ご家族から(きょうだいを含む)の相談等に対して面談などの時間をとり、ご家族に寄り添いながらご家族への支援を丁寧におこなっていく。 保護者様同士が、子育ての喜びや悩みなど、思いを共有できる場を作っていく。	移行支援	就園・就学に向けて、お子さまの様子や、居宅訪問でおこなった支援など、必要な支援が次のステージに繋がるように、ご家族と一緒に準備していきます。スムーズな移行ができるように、移行に向けた支援、移行先・関係機関との連携をおこなっていきます。
地域支援・地域連携	お子さまに関わる地域の関係者や、関係機関と連携をとり、お子さまやご家族の思いに寄り添いながら地域で安心できる環境を作っていくように支援していきます。	職員の質の向上	定期的な勉強会や、外部の研修等に参加し、障がいや特性に関する知識の向上に努めます。日々のミーティング、会議の中で情報共有を図り、方向性や改善点を話し合う。
主な行事等	季節に応じたの制作やイベントを開催:こどもの日・家族の日・七夕・夏祭り・プール(水遊び)・お月見・ハロウィン・クリスマス会・お正月遊び(初詣・福笑い)・節分・バレンタイン・ひな祭り・卒業入学を祝う会(夏祭り、クリスマス会にご家族も参加)・地域のお祭り体験・初詣		